

2023～	医療福祉研究Ⅰ	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	狩野 俊介	

■授業のテーマ

「医療福祉（ヘルスケア）」領域におけるソーシャルワーク理論に関連する実践と研究。

■授業の目的

ヒューマンサービスにおける医療福祉の捉え方を理解し、医療福祉領域における実践や活動をソーシャルワーク理論に基づいて考察できるとともに、実践を科学する方法にまで結びつけられるようになることを目的とする。

■授業の到達目標

- ・ヒューマンサービスにおける医療福祉の領域を理解し、ソーシャルワーク理論に結びつけて説明できる。
- ・医療福祉（ヘルスケア）領域における関連する理論を理解し、諸問題を解決するための有効な取り組みを示すことができる。
- ・医療福祉（ヘルスケア）領域における諸問題を解決するための研究デザインを立てることができる。

■授業の概要

「医療福祉」領域におけるソーシャルワークとは、Medical Social Work、Social Work in Hospitals、Social Work in Healthcare、Social Work in Health Serviceなどと表現されている。医療は言うまでもなく健康と関連する領域であり、近年では人々の健康は生物学的要因だけでなく、社会的決定要因（Social determinants of health）が関連することが示されている。こうした観点から、ここでは健康について視野に入れた「医療福祉」としてのヘルスケアにおいて、ソーシャルワークのあり方を考える。つまり、医療、健康、ストレス、安全をキーワードにヘルスケアにおける多様な側面における諸課題・諸理論をもとにして、今後の「医療福祉」領域におけるソーシャルワークの意義や可能性について考察する。加えて、こうしたソーシャルワーカーによる実践を科学するための方法についてもふれていく。

■レポート課題

課題1 (事前課題)	医療ソーシャルワークの歴史的展開とともに、今日の医療福祉領域で求められるソーシャルワーク実践とその背景について論じてください(4,000字程度)。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業1週間前まで <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業前日まで <input type="checkbox"/> その他 ()
課題2 (事後課題)	授業で取り上げたヘルスケアに関する諸概念・実践上の視点や方法・研究方法などについて、自身の研究課題に引き寄せて理解することができた内容とともに、それらがどのように応用できるか、具体的に論じてください(4,000字程度)。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業後1ヶ月以内 <input checked="" type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 ()

■アドバイス



在宅学修15のポイントを参考に、医療福祉の理解、医療ソーシャルワークの歴史といった基礎的な理解を踏まえつつ、今日のソーシャルワークを取り巻くどのような環境の影響により、医療福祉領域で求められる役割も変化してきていると考えられるのかについて考察してください。

課題2
アドバイス

近接領域における諸概念や方法論を、自らの実践や研究領域に引き寄せて理解し、応用可能性について検討する能力は重要です。そうしたスクーリングで内容を踏まえ、自身の研究においてどのように捉えることができるか、応用することができるかなどを報告してください。なお、レポート作成時に用いる学びの内容は複数あげても良いです。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	医療福祉領域におけるソーシャルワーク	医療福祉、健康	医療福祉のヘルスケアとしての捉え方、保健医療とソーシャルワークの関連を学修する
2	医療ソーシャルワークの歴史と現状	MSW (Medical Social Work)、歴史	日本や諸外国における医療ソーシャルワークの歴史と現状について学修する
3	医療ソーシャルワークの業務とストレスマネジメント	業務指針、ストレスマネジメント	医療ソーシャルワーカーの実践活動と機能、また実践上で抱えるストレスについて学修する
4	疾病に伴う生活課題と医療ソーシャルワーク①(身寄り問題への支援)	身寄り問題、医療同意	疾病に伴って生じる生活課題の一例として、身寄りのない人への医療ソーシャルワークについて学修する
5	疾病に伴う生活課題と医療ソーシャルワーク②(スティグマの理解)	スティグマ	さまざまな疾病によって生じるスティグマについて医療ソーシャルワークとの関連から学修する
6	医療福祉領域で働く人のメンタルヘルス	バーンアウト、ワークエンゲイジメント	医療福祉領域で働く専門職のメンタルヘルスと職務継続について学修する
7	患者・家族と医療ソーシャルワーク	病むこと、当事者の知	疾病を抱えることについて、患者そしてその家族の立場から理解することを目指す
8	医療福祉領域における意思決定支援①(意思決定)	意思決定支援、インフォームド・コンセント、SDM (Shared Decision Making)	医療福祉領域における患者の意思決定のための支援について学修する
9	医療福祉領域における意思決定支援②(事前指示)	ACP (Advance Care Planning)、クライシス・プラン	医療福祉領域において用いられている事前指示の方法について学修する
10	ヘルスケア①(健康と健康生成論)	健康生成論、ストレス対処力	健康生成論とストレス対処力の概要について理解することを目指す
11	ヘルスケア②(心的外傷後成長)	心的外傷後成長、レジリエンス	さまざまな困難の経験後による成長に関する概念について理解することを目指す
12	ヘルスケア③(健康とストレス対処)	ストレス対処、認知行動療法、予防	認知行動療法に基づくストレス対処等のヘルスケアについて学修する
13	ヘルスケア④(健康格差と社会的処方)	健康格差、社会的処方、ソーシャル・キャピタル	健康格差が生じる背景について理解し、その対策のあり方について学修する
14	安全・安心のためのセーフティプロモーション	安全、セーフティプロモーション	傷害(事故など)を防ぐための方法としてのセーフティプロモーションの基本的な考え方について学修する
15	ソーシャルワークの効果測定とヘルスサービスリサーチ	事例研究、効果測定、サービス評価	医療福祉領域におけるソーシャルワーク実践の評価方法について学修する

■スクーリング事前課題(予習)(学修時間目安:35時間)

- ・スクーリングによる対面授業の際には、学修テーマに対応したオンデマンド教材を視聴後に受講する形をとる。そのため、オンデマンド教材を視聴後に再度学修内容(キーワード)について整理し、研究的な観点・関心からミニレポートをまとめてください。
- ・レポート課題の「課題1」を提出してください。

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	医療福祉領域におけるソーシャルワークについて：導入の講義	リモート
2	医療ソーシャルワークの歴史と医療ソーシャルワーカーの実際（学修テーマ2～3）についての講義とミニレポートの作成	オンデマンド
3	疾病に伴う生活課題と医療ソーシャルワークについて（学修テーマ4～5）の講義とミニレポートの作成	オンデマンド
4	医療福祉領域で働く人のヘルスケアについて（学修テーマ6）の講義とミニレポート作成	オンデマンド
5	患者、その家族から学ぶ医療ソーシャルワークのあり方（学修テーマ7）についての講義とオンデマンド授業内容についての質疑応答	対面
6	医療福祉領域における意思決定支援について（学修テーマ8）の講義	対面
7	医療福祉領域における事前指示について（学修テーマ9）の講義	対面
8	健康の理解と健康に関連した諸概念について（学修テーマ10～11）の講義とオンデマンド授業内容についての質疑応答	対面
9	健康に関する個人と環境へのアプローチについて（学修テーマ12～13）の講義	対面
10	医療福祉領域における効果測定とサービス評価について（学修テーマ14～15）の講義	対面

■スクーリング事後課題（学修時間目安：35時間以上）

- ・レポート課題の「課題2」について作成し、提出してください。

■評価の方法・基準

- ・スクーリング60%、課題レポート40%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- *1) 近藤克則『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか（第2版）』医学書院、2022
- 2) 黒岩晴子編著『新版 人と社会に向き合う医療ソーシャルワーク』日本機関紙出版センター、2020
- 3) 杉山明信、保正友子、榎木博之編著『医療ソーシャルワーカーのストレスマネジメント』中央法規、2020
- 4) 中山和弘『これからのヘルスリテラシー 健康を決める力』講談社、2022
- 5) 狩野俊介『クライシス・プラン実践ガイドー精神障害者の地域生活を支援するための新たなケア計画ー』玄武書房、2020
- 6) 山崎喜比古・吉井清子監訳『アーロン・アントノフスキー著 健康の謎を解くストレス対処と健康保持のメカニズム』有信堂、2001
- 7) 近藤克則編著『ソーシャル・キャピタルと健康・福祉 実証研究の手法から政策・実践への応用まで』ミネルヴァ書房、2020
- 8) 田宮菜奈子・小林康毅編『ヘルスサービスリサーチ入門 生活と調和した医療のために』東京大学出版、2017